

ニシテ英國「グリンウエツ」ヨリ東經百三十七度十
九分ニ當ル

一燈臺ハ石造白色ニシテ基礎ヨリ燈火ニ至ルノ高サ二丈
六尺ナリ
一燈火ハ二百十五度半ノ弧線ヲ照輝シ南四十九度東ヨリ
北八十四度三十分西ノ方位ニテ蔽蔭ス但右ハ真方位也
一海面ヨリ燈火迄ノ高サ十五丈二尺五寸ニシテ光通距離
ハ晴天ノ夜十八里(海里)ナリ

○東京府第三十號 郡部伊豆七島ヲ除ク
明治十四年度區部共有金瓦斯局ノ入支出精算別冊ノ通
候
右布達候事 (別冊次號)
明治十六年六月十四日 東京府知事芳川顯正

○東京府第三十一號 郡部伊豆七島ヲ除ク
明治十六年度區部共有金及瓦斯局收入支出精算區部會
決議ヲ經テ別冊ノ通相定ム
右布達候事 (別冊次號)
明治十六年六月十四日 東京府知事芳川顯正

○十六年五月三十一日分 宮内七等屬 柿内 基房
布哇國皇帝陛下ヨリ贈與シタルナイトコンパニチン
セツクワンオンフハワイ勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
候事
○今年六月九日分 尾崎 逸足
伊太利國皇帝陛下ヨリ贈與シタルカハリエレアル
チアコロンナナイアトリヤ勳章以下全文
○二月三日分 從七位勳六等 隈元 實就
○正七位

時事新報
伊太利政府紙幣引換ヲ實行ス
千八百八十三年即チ明治十六年四月十二日ハ伊太利王國
ノ歴史中一大記念ノ日タルベシ此日ヨリ於テ伊太利王國政
府ハ紙幣引換ノ舉ヲ實行シタルナリ伊太利王國ハ建國
ノ日チ距ル今ヨリ僅カニ二十二年歐洲ノ最新王國トシテ
建國ノ初ハ歳出多クシテ歳入足ラズ國債ヲ募リテ財政ノ急
チ救ハントスレド内外國人ノ信用薄クシテ其意ニ應ズル
者ナク依テ止ムチ特ニ紙幣ヲ發行シテ一時ノ急ヲ救マ
リ實ニ今チ距ル十七年前ナリ紙幣ノ制ハ我日本ノ紙幣ノ
制ト同シテ所謂強迫紙幣ナルモノニシテ正金ニ引換フル
トナク王國ノ法貨トシテ金錢取引上ニ受授セシメタルモ
ノナリ伊太利ノ正金ト紙幣ノ差ハ大抵一割内外ニシテ一
割二分ヲ超ルルハ甚ク種ナルナリシコレヲ我日本帝國
ノ正金ト紙幣ノ差其大ナルハ七八割五六割近日ハ大ニ
レテ減シタリト云フモ尙ホ三四割ノ間ニ在ルモノニ比
シテ其懸絶同日ノ論ニシテ我日本人等ノ眼ヨリ見レバ
伊太利人民ハ未ダ具ニ強迫紙幣ノ弊害ヲ實感シタルモ
アラズ正金ト紙幣ト一割位ノ差異ニ露々苦痛ヲ鳴ラズハ
何事アトコレヲ我身ニ關シテ他ノ堪忍袋ノ狹キヲ野郎
モアルヘシ然レド伊太利人民ハ一割ノ差ヲ以テ齒牙ニ掛

クルニ足ラザルノ小額ト爲サズシテ速カニ金紙同價ノ日
ニ達ハンコヲ希望シ額被活潑ナル伊太利政府モ飽クマテ
強迫紙幣ノ害ヲ承知シテ速カニ兌換紙幣ニ改メシコトヲ欲
シ國會ノ決議ヲ經テ實行ノ手續ヲ定メ明治十四年ヨリ十
五年ニ掛ケ紙幣引換ノ用ニ供スルタメ國內國外ニ於テ新
タニ七億二千九百七十四万五千「リ」即チ一億四千五
百九十四万九千銀圓ノ國債ヲ募集シ此正金ヲ以テ約束
通り本年四月十二日紙幣引換ノ大業ヲ實行シタリ我輩ハ
伊太利王國ノ臣民ニアラズト雖モ同情相憐ノ心ノ然ラシ
ムル所カ此喜ブベキ報知ヲ得テ満足ニ堪ニス伊太利國民
ニ向テ其進運ノ無比ナルヲ慶賀スルナリ
伊太利半島及ビ其附屬諸島ノ面積ハ凡ソ十一万四千方英
里ニシテ日本帝國ノ版圖ニ比スレバ凡ソ其三分ノ一ナ少
ナシシタルモノト零相以テリ今ヨリ二十餘年前ニハ國內
幾多ノ邦國ニ分裂シ「サルジヨヤ」「エ國アリ」「シリ」王
國アリ壤地利國ノ屬地アリ羅馬法王ノ領地アリ「トスカ
ニ」「バルマ」「モテナ」等ノ諸公國アリ壤土大牙錯雜
シ其國勢ノ微弱至極ナル常ニ他ノ侮蔑ヲ免カル、不能
ハザリキ然ルニ千八百六十一年ニ至リテ「サルジヨヤ」「王
「ウイクトル、エマニウ」伊太利ナ一統シテ新タニ伊太
利國トシテ位ニ即キ地中海頭忍チ一ノ強大國ト現出シタル
ノ日ヨリシテ全伊太利人ハ刻苦精勵力ヲ協セテ新王國ノ
富強ヲ謀リ日耳曼ノ兵制ニ倣ヒテ全國兵ノ法ヲ設ク平時
陸軍ノ常備兵二十万五千人戰時ハ七十三万三千人ニ増ス
ベシ海軍ハ目下八十六艘ノ軍艦ヲ備ヘ世界中屈指ノ一強
兵ナリ殊ニ伊太利ノ四大艦ト號スル「イタリヤ」「レバ
ント」「チニイリ」「マン」號ノ四鎮艦ハ甲鎮ノ
厚サ二十二寸乃至三十三寸ニシテ各百噸ノ「アームスト
ロング」砲四門ヲ裝置セリ即チ英國ノ海軍中ニモ其比チ
見ザル世界第一ノ堅固巨砲ナリ農工商業ノ獎勵又軍備ノ
擴張ニ劣ラズ富國第一ノ要領ナル如キモノ千八百
六十一年前ハ僅カニ數百英里ヲ布政シタルノモノヲ觀ル
ニ足ルモノナカシガ此年新伊太利建國ノ舉ト共ニ急ニ
「羅達」兩洲二十年ノ間ニ五千餘英里ノ新領地ヲ布政シ
タリ然レド人民ハ鎮道布政ヲ私立會社ノ企業ニシテ委
シテハ其發達甚ク遲緩ナルヲ憂ヘ政府チテ自カラ其業ニ
從事セシメ千八百七十九年(明治十二年)國會ノ決議ヲ以
テ向テ十五年ノ間ニ二億銀圓ノ金ヲ集メテ軍ニ千七百
英里ノ新領地ヲ布政スベシ其費用ノ何分ヲ負擔スルヤメ
政府ハ向テ十二年ノ間毎年一千万圓ヲ臨時支出スベシト
定メタリ斯ノ如ク伊太利人民ガ銳意其文明ヲ推前シント
スルニハ其費用固ヨリ莫大ナリ故ニ建國以來伊太利政府
ノ會計ハ入ルチ以テ出ルチ償フ「能ハズ千八百六十六年
ノ會計ノ如クハ歳出ノ額入ノ超過スル「實チ一億二千三

日四十万銀圓ナリシ依テ種々ノ稅法ヲ工夫ノ歳入ヲ增加
シコレヲ二十年間ニ比スレバ目下凡ソ三倍ノ金額ニ上リ
國債ノ總額ハ既ニ二十億銀圓ノ巨額ニ達シタリ明治十五
年度ノ歳出四億三千五百九十八万圓歳入四億三千九百五
十八万圓コレヲ伊太利國ノ人口二千八百四十五万人ニ配
當スレバ一人ニ付十五圓餘ニ當ル即チコレヲ我日本人民
ニ比スレバ凡ソ十倍ニ近キ國稅ヲ拂フノ算ナリ實ニ金
クベキ金額ト云フベシ伊太利人ハ其國ヲ獨立シシメ世界
ノ一大強國タルノ地位ニ達センガ爲メ斯ノ如クノ大金ヲ
費シテ斯ノ如クノ重稅ヲ拂ヒタリ若シ世間ノ古風ナル政
治家ガ口吻ニスル如ク斯氏ヲ休養スベシコレヲ休養スル
ノ道ハ唯其賦稅ヲ減スルノ一途ト云フチ以テ人聞ノ最犬幸
福ナリト爲サントハ伊太利人ハコレヲ今ノ新強大國トシテ
立シタルハ此上モナキ無分別ナルベシ伊太利人ナレバ若
シ二十年間ノ儘ニ他ノ侮蔑ニ甘從セシメンハ十五圓
ノ租稅ヲ拂ハズ百圓ノ國債ヲモ負擔セズシテ依然此世
ノ中ニ生々シ得タルナルベシ然レド伊太利人ハ此ヲ棄テ
彼ヲ擇ビ費用ヲ吝マズシテ銳意全國ノ文明ヲ推前シ明治
十六年四月十二日ニハ又モ強迫紙幣ノ現在流通高九億
四千方「リ」即チ一億八千八百方銀圓ノ引換ノ着手シ
タリ實ニ其勇氣ハ及ブベカラザルナリ我輩ハ日本國民
ニ向テ伊太利人ノ所爲ニ倣ヒ此ヲ棄テ彼ヲ擇ブノ政策ニ
出テテテ勸告スル者ナリ

雜報

○西京宮殿 西京宮殿保存の事ニ付ては屢々前報の紙上
ニ掲げ且其眞偽のさぐりあらねども本年十一月中旬の卯
辰巳三日は彼地に於て大會を執行せらるゝや此際を
聞かざるゝ登記せしむる所には據れば右の大式は此
度更なる儀を擧げらるゝと傳へてこれなく自前報並
ニ大會に關する永遠西京の御殿を保存する事なるべし
と、決し同所の宮殿保存を仰出されたる次第にて是の
有栖川二品宮に御建儀を籌畫す所也、御建儀は其建
小なるが如く兩宮まで御保存するべしとの趣旨より
萬世不朽東京及び西京の二府の本邦建儀の名蹟を存せ
るゝ事あり也

○杉宮内大輔 同君ハハ昨日皇居御建儀事務局御建儀
務を命ぜられたり
○品川農商務大輔 同君ハハ昨日北海道三縣巡視として
出發せしが去十日札幌縣下室蘭港へ着、翌十一日釧路
發新冠牧場へ赴く旨其筋へ電報ありたりと云、
○野村縣選權官 同官ハハ昨日北越其他縣選權の爲メ
續出帆名古屋丸にて神戸へ向て出發したり
○石井電信局長 過般海軍電報機設の事ハ付支那上海及
び朝鮮國へ送らるゝ石井局長ハハ昨日海軍省へ報告たり